

2012年 第2回 私立大学図書館協会
阪神地区相互利用担当者連絡会議事要録

作成日 2012年11月16日
太成学院大学図書館 茂木景子

日時： 2012年10月31日（水） 午後2時～4時
場所： 太成学院大学 本館3階 M301教室
出席者： 45館 54名

挨拶： 太成学院大学 学長 足立 裕亮
司会： 太成学院大学 図書館長 釣島 平三郎

議事に入る前に冊子資料の確認をした

1. 連絡事項

- (1) 不要雑誌リストの交換について
各大学より事前に送付されたリストを確認した

2. 報告事項

分担保存雑誌購読中止について
甲南大学図書館から申請があった「あごら」購読中止について
先に行われた分担保存委員会の承認を得た旨報告した

3. 講演

今回も承合事項がなく、当大学図書館長の講演を実施した

アメリカのエリート教育と大学図書館 釣島 平三郎

日本とアメリカを対比しつつ、司書の地位が高く、
より高度な専門性が求められていて24時間開館は当たり前
一般開放もされているなど今後の日本の大学図書館に参考になる話でした

4. グループ討議

講演を聞いて日本の大学図書館のあり方について討議した

グループ発表

Aグループ

- まず学生が問題解決能力を持つこと
- ① 初年度教育、新生ガイダンスに力をいれること
 - ② 教員との連携を密に取ること
 - ③ 学生とのコミュニケーションを取ること

Bグループ

- ① 今ある資源をどのように活用していくか
- ② 教員との連携を取る
- ③ 学生とのつながりを密にする
- ④ 資料と利用者を結びつける

Cグループ

- ① 学生をどう育てるか
新入生の情報リテラシー教育、各種ガイダンス、コンテストなどの図書館活用の働きかけを行う
- ② 連携の大切さ
大学・教員と図書館の連携が大切だが、現状は上手くいっていない
教員から学生へ図書館利用を促してほしい。
- ③ 職員を育てる環境
派遣職員が増加し教員との連携の取りにくい、サービス向上のためにもっとプロを育てられる環境づくりが必要

Dグループ

- ① 問題点
図書館と講義、授業とが融合していない
学生と先生との距離がある
- ② 解決策
図書館・学生・先生との連携
情報検索指導に重点をおく

Fグループ

- ① ギャラリー化や企画展を実施し図書館に人を集める
- ② 人材の育成を目指したアクティブラーニング（課題研究、ディスカッション、プレゼンテーション）に活用されるよう利用者と資料の結びつきを深める

Eグループ

- ① グループ討議をするにはテーマが大きすぎて各館の状況など情報交換をした

Gグループ

- ① 日常業務の問題などを話し合いたかったし、
承合事項がなければ集まるのは年1回でいいのではないかと

最後に帝塚山学院大学図書館 北村晴美様よりアンケート調査協力のお礼と簡単な結果説明があった
添付：帝塚山学院大学一般開放についてのアンケート結果
(第1回阪神地区相互利用担当者連絡会の時に依頼)

第2回相互利用担当者連絡会においても承合事項が集まらなかった為講演をさせていただきのち、皆様で討議していただきましたがその件に関してどのように思われているかアンケートをお願い致しました。下記がその結果です。今後の相互利用担当者連絡会をどのように運営していくか、参考にさせていただきます。

- ・相互利用に関するテーマの講演や講習会があれば良いと感じた。
- ・講演の中に相互利用について出てこなかったのが討議に方向性をもたせることが出来なかった。
- ・討議の際リーダーの選び方が常に勤続年数が長い方は困る。
- ・相互利用担当者連絡会のあり方、成り立ち、基本姿勢など学べる機会を増やしてほしい。
- ・相互利用に関する事例紹介などがあれば討議に入りやすく情報交換になるのでは。
- ・ディスカッションの時間が短く上手くまとめられなかった。
- ・今後の研修会、講習会の希望としてリテラシー教育やレファレンスに関する講演などをお願いしたい。
- ・相互利用に関する話し合いの時間をもうけて欲しい。
- ・今回の講演があるのは良かったが事前になにをするのか連絡して欲しかった。
- ・承合事項が集まらなかったら開催すべきではないと思う。
- ・メール等で済むような場合はMLを使い、連絡会を開催する必要はないと思う。
- ・事前に討議する内容を知らせてもらえば内容にそった職員を参加させることができるのでは。
- ・効率的な情報共有のため座席表の作成をお願いします。
- ・アメリカの大学図書館の位置づけが高く、日本の大学図書館を考える機会を得られました。
- ・主旨としては情報交換、共有、I L L現状把握を期待します。

- グループ討議にするにはテーマが大きすぎて難しかった。
- 開催時期が丁度良かった。
- 利用者へのアピールなどして、他大学で行っている様々な工夫、取り組みを聞いて良かった。
- 実務に即した悩み等を他館の方々と話し合えて良かったです。
- 承合事項がなくても、当日日常業務の問題点などを募ってみてはいかがでしょうか。
- 相互利用に関する話し合いの場にして欲しかった。なければ年1回の開催でいいのでは。
- メールを駆使して事前にプレディスカッションをすれば、当日の議論も盛り上がると思う。
- 通常ではなかなか知ることの出来ないアメリカの大学の現状を知る事ができて良かった。

ご協力ありがとうございました。